

新型コロナウイルス集団発生に備えるために

<集団発生に備えるために>

★感染対策の手技を振り返る！

PPE（個人防護具）の着脱方法、ゾーニングの方法、感染対策資材の備蓄を進めておきましょう。

★医療機関との連携を確認する！

施設内療養に向けて、事前に協力医療機関やかかりつけ医に基礎疾患だけでなく新型コロナの診療まで協力いただけるかどうか確認しておきましょう。

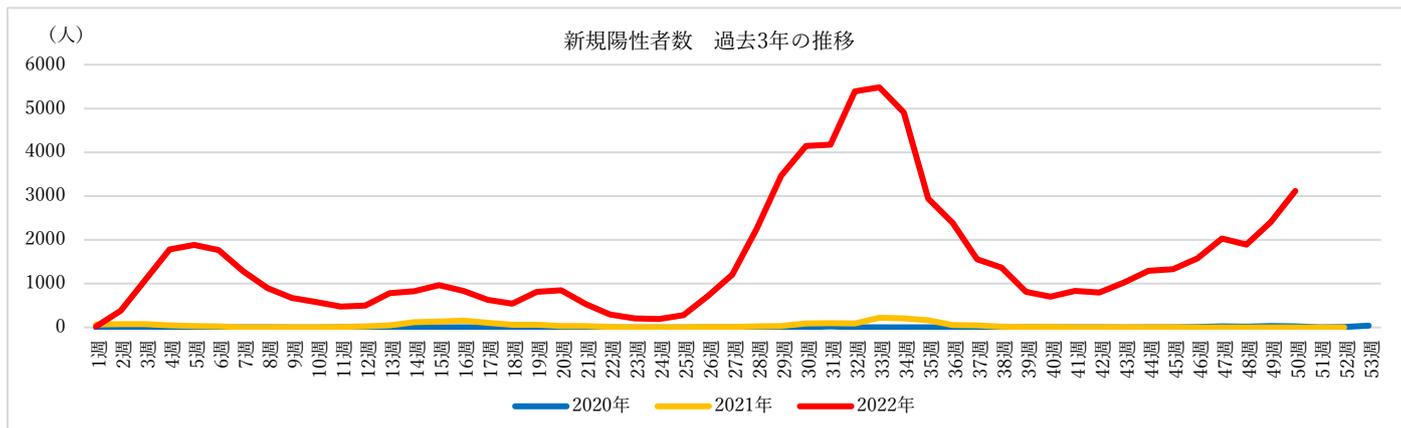
<各種感染対策マニュアルや保健所への報告様式>

和歌山市感染症情報センター(<http://www.kansen-wakayama.jp>)

→「社会福祉施設向け新型コロナ集団発生について（オレンジ色のタブ）」の中をご参照ください。

<新型コロナウイルス陽性者数の推移>

2022年の新型コロナウイルス陽性者数は過去2年と比較すると大変多くなり、かなり身近な感染症となってきました。今年7～9月の第7波では1日最大1165人（1週間最大は5483人）が陽性となりましたが、この冬すでに来ているとも考えられる第8波では、より多くの陽性者が確認される可能性があります。



<介護等社会福祉施設での集団発生状況>

2022年の介護等社会福祉施設の集団発生は1日最大6件（1週間最大は25件）確認されています。第7波では和歌山市内の入所施設（老健・特養・有料老人ホーム・サ高住・グループホーム・その他高齢者や障害者入所施設）の約37%が集団発生を経験し、集団発生が終息するまでには平均約18日間かかり、平均約27%の入所者が陽性となっていました。また約89%の入所施設が施設内療養を経験していました。

